

# 西濃に広がる あったかい 言葉かけ

西濃教育事務所 教育支援課 学校地域連携係  
令和8年2月2日 / No.6

## 「きにしないでいいよ」

体重をきにしていたわたしに、友だちが、「人それぞれにこじんさがあるからきにしないでいいよ」と言ってくれて、わたしは、きにしないでいいんだと気持ちがラクになりました。

## 毎朝の「いってらっしゃい!!」

ぼくの母は毎朝どれだけ忙しくても玄関まで来てくれて「いってらっしゃい!!」と、見送ってくれます。いつもあったかい言葉をかけてくれる母。今日もがんばれそうだよ。行ってきます!!

## 「がんばれ!」

わたしは、クラスみんなでやる八の字とびが苦手です。だからその日になるといやだなあ、休みみたいなあと思います。わたしの番が近づくとどうしようドキドキします。でもクラスみんなが「がんばれ!」と言ってくれました。すると自然とぶことができました。「がんばれ!」は、わたしを上げます、すてきな言葉になりました。

## 「上手にできるようになってきたね!」

私はバレーボール少年団に入団したばかりで、みんなみたいに上手にはできません。そこで、家でも毎日練習して、だんだんできるようになってきたかなと思っていた時に、友達やコーチから、「上手にできるようになってきたね。」と言ってもらえました。とてもうれしかったので、さらにがんばろうという気持ちになりました。

## 「いっしょにあそぼう。」

にゆうがくして、ともだちができるかふあんだったけど、となりのこが「いっしょにあそぼう。」とさそってくれてあんしんしたよ。



## 「たすかったよ」

しょっきふきは、ぼくの毎日のお手つだい。おかあさんが「たすかったよ」と言ってくれて、ぼくのころはわくわくうれしいあったかい。あしたもがんばるぞ!

## 「氣をつけて 帰рийや。」

学校から帰ってくるときに、近所のおじさんがみんなに声をかけてくれます。そのおかげで、私のころは、ほっとあたたかくなります。小学校1年生の時から、会うたびに笑顔で声をかけてくれます。おじさんの笑顔を見ると、「やさしい人だなあ。」「私も人にやさしくしたいな。」と思います。おじさん、ありがとう。

「あったかい言葉かけ県民運動」に西濃管内から応募いただいた作品より紹介させていただきます。

